



長 崎 県
中小企業家同友会

DOYU

ニュース
21

E-mail jimu@nagasaki.doyu.jp
U R L http://www.nagasaki.doyu.jp

本部事務局 長崎市栄町1-20 大野ビル5F ☎(095)822-0680 FAX (095)824-4623

同友会理念を学び深め、21世紀を切り拓く企業づくりを ＝地域に根ざした人間尊重の企業づくりを＝

第18回経営フォーラムを終えて

「挑め！今こそ連携！
地域とわが社の新しい可能性」
株式会社 イドム
代表取締役 小出 宗昭氏



株イドムの小出宗昭氏に本年度の記念講演をお願いした。そのサマリーをお届けします。

第一回の経営フォーラムを、大村支部の会員皆さんの奮闘で成功させて以来、時代の要請に柔軟に対応する為に続けて来た経営フォーラムが、十八回目を迎えた。係わって来られた諸氏に、深い敬意を払いたい。

今回は、昨年の演者、立教大学の山口義行教授の盟友、小出宗昭氏の来演でした。山口教授は、知る力・視る力・つなぐ力の三つの力が大切だと伝え残して下さいましたが、小出氏は、その中のつなぐ力に光を当てての講演をなさいました。

ここでの新たな気づきが、明日からの新たなチャレンジにつながれば幸いです。と前振りをされたあと講演は始まりました。



川口実行委員長 たいへんお疲れ様でした

経産省や中小企業庁の委員を歴任された経験から、公の産業支援のメンバーには、プロがいないと言い切られました。

およそ、企業家は100%、経営に悩み、課題を抱えている。そして、その100%がもっと良くなりたいと考えている。公の支援組織は、問題を抱える経営者は、当然自ら相談に訪ねて来るはずだと待っている。

人は、理由が無ければ、絶対にアクションを起こさない。

自分が運営する富士市産業支援センターには、月間160件の相談がある。

そのうち、結果が出ている案件を分析してみると、相談の内容は、売上がなかなか上がらない点が、共通している。売上を上げる流れを作る為にやるべき事は三つ。①販路の拡大 ②新商品の開発 ③新分野への進出である。支援側が提案し、一緒になって見つけ出してあげることも三つ。①真のセールスポイントを発見し、それを生かす戦略と戦術を決めること ②ターゲットを絞るこ

目次

第18回経営フォーラムを終えて	1	11月例会報告	10
10月例会報告	7	新入会員の皆さん	16
2011年度第一回中同協企業連携推進例会 に参加して	7	1月例会案内	18
経営労働問題全国交流会 参加報告	9	理事会議事録抜粋(10月・11月)	19
		会員消息・会員数	20

と。沢山のライバルがいる中で、全てのお客様を客層にすることは不可能 ③連携すること。一社では難しいことも、2、3社と繋がることで大きな成果を挙げることが出来る。

そのあと豊富な体験に基づいた事例の報告があった。

続いて、良いサービス、良い商品も、知って貰わなければ売れない。コストをかけず、知恵を絞って、良いネーミングをすることも不可欠。プロパガンダにも注力すること。と講演は進み、扱った案件で失敗したことはないが、結果が出てないものはあると話された。

コストをかけず、知恵を絞っているの、リスクは発生しないという考え方です。

締めは、本質を見極めて、やってみなきゃわからない、やらなきゃ絶対に結果は出ない。



チャレンジしましょう！！こういう時代だからこそ、知恵を使って一緒にチャレンジしましょう。何度も言うけど、繋ぎ合って一緒にチャレンジしましょう。日本には、チャレンジャーが必要だ！！と結ばれました。

(文責 長崎浦上支部 泉 健彦)

第1分科会<経営指針>

老舗酒造場の人間力経営

～若き14代目の挑戦！社員に生きがいを与え、地域の未来を造る会社とは？～

(賓)若竹屋酒造場 社長

林田 浩 暢 氏 (福岡同友会 副代表理事)



10月28日の経営フォーラム当日は霧雨まじりの天気。9月下旬に、最終打ち合わせで田主丸の若竹屋酒造場を訪れたときも同じような空模様でした。久留米市田主丸町は、町の中心部を筑後川が流れ、遠くには耳納連山を望む歴史あるのどかな町です。この風土が約300年にもわたり、若竹屋酒造の美味しいお酒を育んできました。

さて、経営フォーラム当日。会場のロイヤルチェスターホテルにお越しになった林田さんがぼつりとつぶやきました。「ちょっと肌寒くてどんよりとしたこんな日は、蕎麦屋で熱燗でもやりながら打ち合わせしたいですね。」

また、先述した若竹屋での打ち合わせの帰り際に、私が「週末に高知出身の友人と酒盗で一杯やるんですが、酒盗に合うお酒を選んでください。」とお願いすると、林田さんは“横尾”という杜氏



さんの名前を冠した限定酒を持ってこられて「このお酒は、ぬるめの燗でお願いします。酒盗には間違いないです。」と自信满满薦めてくれました。週末の飲み会で、私が酒好きの友人達から絶賛されたのは言うまでもありません。林田さんと話していると、日本酒とその文化を愛する気持ちが暖かく伝わってきます。左党の私にとって、それがとても心地よく感じられるのです。

若竹屋酒造場の経営理念は、「感動・感謝・素直 共に喜び共に生きる」。そして家訓は「若竹屋は先祖より受け継ぎし商いにあらず、子孫より預かりしものなり」です。若竹屋14代目林田さんの報告は、まさにこれに裏づけされたものでした。

300年続く老舗ゆえの伝統と馴れ合い。家業を継承する時に初めて、10期連続赤字、年商の2倍の負債という現実を知ります。そこから若き14代目の挑戦が始まります。

どんぶり勘定から脱却し、利益から作る経営計画を策定します。SWOT分析、ABC分析、移動年計、ポートフォリオ分析といった経営分析手法から、自社の強み弱みを見極め、時代のトレンドラインを読み、なにを捨てて経営資源をどこに投入するのかを決断していくのです。林田さんは



言い切ります。「社長の仕事は、捻出した経営資源（人・モノ・カネ）を伸びている所に投入することである。」

はじめは懐疑的、保守的であった従業員さん達も、社長の情熱、行動力、本気度に少しずつ変わっていきます。しかし、復活劇には痛みも伴います。取引先や銀行の支援を頂く上で、会社もリストラを実施せざるを得なくなったとのお話がありました。

そして、林田さんが最後に語ったエピソードです。ある日、ひとりの営業社員からこう言われま

した。「経営が厳しいのはわかるが、あの人を辞めさせないで欲しい。それなら自分をリストラしてくれ。」林田さんは慌てました。なぜなら、彼は若竹屋のトップセールスマンだったのです。数字にも強く会社の内情も理解している優秀な人材です。彼に辞められては営業部隊はズタズタです。いろんな想いがめぐって林田さんは動揺しました。そんな社長の動揺に気づいて彼は言いました。「社長は何を勘違いしているのですか。自分は辞めませんよ。無給で働きますから、あの人を辞めさせないでください。自分はこの会社も仲間も大好きなんです。」林田さんはこの時のことを思い出して涙ながらに語ってくれました。

会場内の空気が感動で熱くなりました。と同時に、参加した皆さんは、自社に想いをめぐらせて、色んな事を自問自答されたことと思います。

経営者にとって本当に大切なものは何か。林田さんから多くの学びと問題提議を頂いた第1分科会でした。

（文責 長崎浦上支部 出口 一隆）

第2分科会＜経営戦略＞

共に学び共に育つ

～今こそあるべき共育の姿へ～

フラッシュ(株) 代表取締役

古里 学 氏（長崎出島支部）



美容室というのは、全国で約21万店舗存在し、かなり飽和状態の業界だそうです。確かに街に一步出れば必ず目にします。商店街に行けば4、5店舗はありそうです。そんな競争の激しい中、古里氏は益々頑張っておられます。業界歴は、30年。そして2005年にフラッシュ株式会社を設立され、創業6年とまだ若い会社ですが、店舗は長崎市内に12店舗。そして社員はすべて女性で現在46名と大所帯の会社です。長崎でよく知られる「美容室ジャスカット」がそうです。創業当



初は、資金的にも社員教育にも大変な苦勞をされたそうです。

その頃、自身に足りなかったのが、経理概念と社員との心の距離だったとの事。

経理概念では、すべてを税理士に任せ大雑把に利益が出た、出ない位の感覚であり、利益が出た時には少しはお金があるんだ程度にしか考えておらず、実際には資金がないことが分かり落胆した事や銀行からの借入が出来ない所まで来ていた等、問題に直面されました。しかし、そこから古里氏の本領発揮といったところでした。それから古里氏は経営計画発表を行い、人材育成を行いました。そして今までの様な経理感覚では会社とは言えないと助言を頂き、経理を勉強し、銀行マンが必ず必要とする試験を日夜勉強され、努力した結果、試験に合格されたそうです。また、社員と



の心の隔たりは教育する事で縮まると思い、実行されたとのことでした。

経理は十分に理解できるようになり、月初には試算表が出来、月初めの会議に間に合うようになっているとの事。しかし、社員教育はそう簡単にはいかなかったようです。研修先のホテルで「私、もうすぐ辞めるよ!」という会話を偶然耳にして愕然とし、悩み、どうしたらいいのか本当に落ち込んだそうです。

そんな中、知人より「考え方を学ぶことにより、行動が決まるのだ!」とアドバイスをいただ

き、自らが考え方を学び社員と共に一同じ机で考え、将来の希望を分かち合い、実行する。そのような精神で社員と日々接することによって、現在は徐々に成果が表れ、ご自身の考えと同じレベルで社員の方が発想し、行動してくれるようになって来たそうです。もうお店にお客様がいない時にサボる人はいません。歩きながらの挨拶をする人もいません。

何処にもないお店づくりと心配りのできるお店を自負し長崎発祥のFC200店舗を目標に頑張っておられます。

そしてそこには、上から目線になるのではなく社員さんと同じ目線で共に学び共に育ち、そしてさらに考え方を学び、行動する。この事を大事に今後も頑張っていくとの事です。またこれらの考えは良き人と巡り合えたおかげだ!とも。人と人との巡り合いの大切さも合わせて教えていただきました。今後一層、同友会での人と人との関わりを大事にしていきたいと思います。

(文責 長崎出島支部 上原 一眞)

第3分科会<事業継承>

「継承問題」

～会社を引き継ぐ そして 引き渡す～

株紀之国屋 代表取締役社長

中村大志氏(福岡同友会 北九州支部役員)



第3分科会のテーマは「事業継承」で、株紀之国屋 代表取締役 中村大志氏(福岡同友会北九州支部役員)にご報告いただきました。

中村氏は結婚を期に、奥様の父親の会社である株紀之国屋へ役職には就かず、一社員として1997年に入社しました。そして入社当時から後継者としての覚悟を決めていました。社内での成績トップや新規事業の立ち上げ等、とにかく誰よりも仕事と勉強と努力をし、後継者として誰

からも認められるような実績作りに努めました。2003年には人材派遣会社(株)プロサポートの立ち上げにも成功し、そして2008年に両会社の代表取締役役に就任しました。

当時の社長(現会長)も引き渡す準備を当時から10年間の計画で行って頂いていたそうです。新卒の採用や社員教育、人脈作りや株の譲渡など、一朝一夕ではできないようなことを、先の事業承継を見据えて考えてくれていました。中でも中村氏が入社した年から始めた新卒の採用は今になって効果が出ているようです。中村氏の入社前からいるベテラン社員よりも入社後に採用してきた新しい社員が過半数を超えたことによって、経営の舵がとりやすくなったとの事です。

事業承継の重要点として中村氏は「時間をかけ



て着実に」「創業と守成、タイプが違うためそれぞれが難しい」「お互いに認め合い、ひく勇気も必要」「負を背負う勇気、覚悟」このような点を挙げられました。

参加した多くの方が、実際に事業承継の問題に直面されていました。引き継がせる人と引き継ぐ人。グループ討論では引き継がせる立場の意見として、「後継者がいない」「引き継がせられるような経営状態にする」「後継者がいないから会社の解散や売却も考えている」「(息子に)後継者としてのやる気、覚悟をもっと持って欲しい」「一度は外の会社で働かせて社会勉強をさせる」等が挙がりました。一方、引き継ぐ立場としては、「後継者としての明確な指名を早めにして欲しい」「今の会社の経営状態を知りたい」「時間をかけて事業承継の準備をして欲しい」という意見が挙がりました。

また、表からは見えにくい事業承継の問題点も意見として出ました。親族間での株の譲渡や遺産相続、財産分与の難しさ、人間関係やしがらみなどの様々な苦労を経験されている方もいました。

多くの中小企業が抱えている後継者問題です



が、今回この分科会で様々な意見を聞くことができ、とても勉強になりました。まだまだ若い経営者でも、今の段階で先を見据えて考えていく事が事業承継なのだと感じました。

遠路はるばる北九州から来ていただいた中村氏、座長の中川氏、約5ヶ月前からの準備、そして今回の報告、誠にありがとうございました。そして分科会の企画、準備に尽力した西村青年経営者会会長、川口実行委員長、青年経営者会の皆様、ありがとうございました。

(文責 青年経営者会 橋本 裕次郎)

懇親交流会

ロイヤルチェスターホテル 1F デュークホール



新会員の皆様へバッジの贈呈



吉田さん(中央) 素晴らしい会場本当にありがとうございました



フォーラム旗 返還



西村専務理事からお礼の挨拶

第18回 経営フォーラム アンケート結果 一覧

＜1分科会＞

報告内容について

- たいへん良かった (38)
- 良かった (8)

グループ討論について

- たいへん良かった (27)
- 良かった (10)
- 普通 (1)
- あまり良くなかった (1)
- 悪かった (1)
- 未記入 (6)

学んだこと

- ・情熱を持って仕事をする大切さ、冷静に数字を分析する力、社員を大切に思う気持ち。
- ・経営指針の必要性、また利益確保（下から）を考えた上での経営指針の作成方法。
- ・経営に向かう姿勢、社員の声に耳を傾ける。社員と夢の共有。会社は先代からの預かりものである。
- ・力を入れる所とやめる所を見極める事。
- ・事業を運営していく上での、経営指針の大切さとそれを創る過程での分析の手法。
- ・自分も社員と進む方向を明確にする為に頑張らねばと思いました。又、林田社長の人としての優しさを感じることができました。（社員をやめさせたくない点など）
- ・数字を分析し、計画をたてる手順を学びました。
- ・情熱を持って仕事をする大切さ、冷静に数字を分析する力、社員を大切に思う気持ち。
- ・何を捨て、何に投資するのか？具体的な分析SWOT・ABC…これほどシンプルかつ明快にご説明頂き感謝致します。

＜2分科会＞

報告内容について

- たいへん良かった (21)
- 良かった (3)
- 未記入 (2)

グループ討論について

- たいへん良かった (13)
- 良かった (13)

学んだこと

- ・前向きな心構え、財務の大切さ・ビジョンの必要性和社員との共有。
- ・ビジョンに対して具体的に行動し、継続して行くこと。
- ・社員と経営者の価値の共有。
- ・皆、悩みは同じであり、その中で新たな事業展開（挑戦）を考えている 刺激をもらった
- ・志の高さが具体化に繋がる。
- ・グループ長の難しさ、ディスカッションをする上で様々な業

会の方の仕事をする上での物事の考え方など勉強になりました。

- ・経営者たちの10年後を比較すると多種多様であったが、共通するところが1つあった。それは、同友会の理念が1年後でも5年後でも10年後でも通じているということだ。
- ・グループディスカッションのテーマが少し難しかった
- ・社員教育の前に自分を変えなければならぬ。

＜3分科会＞

報告内容について

- たいへん良かった (22)
- 良かった (6)
- 未記入 (3)

グループ討論について

- たいへん良かった (19)
- 良かった (8)
- 未記入 (4)

学んだこと

- ・創業と守成の違い、失敗の必要性と限度。
- ・守るだけではだめだ！攻めること（新事業、新企画）も考えなければならぬ。
- ・事業継承に様々な準備（人、やり方、持ち株等）が必要で、時間をかけることが必要。
- ・企業継承は慎重に計画的にまた思い切って完全に任せる事が大切であり、また創業者と後継者がお互いに尊重する事も重要。
- ・継承される側の心構え、行動特に「秀忠」になるという所に共感。
- ・仕事を継続していく大変さ、世代交代のタイミング、将来の見通し。
- ・後継者を早めに指名し、準備をする、やる気がない人は指名できない。やる気ができるような会社にしなければならない。
- ・社長になる前にしておくこと（勉強）の大事さ。
- ・今の自分はどうか？評論家になっているのではと反省した。相手を思う気持ちの大切さが必要。
- ・企業理念を確立し、継承者に引き継ぐことが大事。
- ・発表者として話をまとめることも勉強になりました。
- ・自分自身がいつも前向きでなければ繋がっていかない。



＜記念講演＞

講演内容について

- たいへん良かった (70)
- 良かった (15)
- 普通 (8)
- あまり良くなかった (2)
- 悪かった (2)
- 未記入 (6)

学んだこと

- ・知ってもらいたい良い商品づくりの大切さ、セールスポイントを持っていでも知らなければ、何もならない。金を出さずに知恵を出す。
- ・つなぐ力（異業種との連携）・リスク回避
- ・柔軟な発想、知恵でブレイクさせる、無用な投資をせず、生かせる方法を
- ・コーディネイト力の必要性。
- ・不変と機知
- ・チャレンジがないと何も生まれないということに気がついた。
- ・自社のセールスポイントは何か？何を誰にセールスするかが重要であり、最小限の費用でチャレンジする事！
- ・やみくもに販売するのではなく、ターゲットを絞ってコンセプトを明確にすること。
- ・リスクをかけずにチャレンジする。
- ・知恵を使うこと、やってみることの勇気をもたらした。

＜皆様からのご意見＞

- ・テーブルに欠席がありグループ討論の進行が難しかったので、次回は討論が始まる前にテーブル分けをして欲しい。
- ・大変つかれました。
- ・記念講演の証明が暗く、講師に迷惑をかけたかと思えます。
- ・良い学びの機会をありがとうございました。
- ・非常に内容のあるフォーラムであったと思います。
- ・スムーズな進行でした
- ・次回もまた参加したい。
- ・経営コンサルタントではなく、真に経営で苦労された生きた経営の話が聞きたい。
- ・会場が寒すぎた
- ・小出氏がポジティブで良かった
- ・自分もチャレンジしようと思います
- ・長崎県に支援センターはないのか
- ・とても良い勉強をしている会だと感じた
- ・また勉強をしたいと思えます
- ・記念講演の音質が悪かった
- ・時間が長すぎる

10月 北松浦支部例会報告

日 時	10月20日(木) 午後6時
会 場	サムソンホテル
テ ー マ	失敗からの脱却
報 告 者	(有)電計社 取締役 津崎 幸三 会員



今例会は、(有)電計社取締役 津崎会員によって経営計画書の報告がなされました。テーマは「失敗からの脱却…」と題してあり、まさに脱却するための奮闘ぶりがつづられていました。

まずは、過去の失敗についての徹底的な反省と分析をされており、常日頃元気いっぱいの津崎会員からは想像も出来ない奮闘のようでした。計画は過去の反省と現状分析の上に成り立つものだと感じました。



今現在も脱却計画は進行中で今年度上期は上々のようですが、下期が怖いと語られていました。

その後、今例会ではグループワーキングディスカッションを行いました。自社の経営理念作成を行いました。日頃取り組まれている会員もそうでない会員も一緒になり、準備されたワークシートを埋めていく作業中は、ペンが走る音しか聞こえない、とても静かで張りつめた時間でした。後半になると各グループでは会員同士がディスカッションを行い終了となりました。

今例会で感じた事は徹底的な反省と分析、そして改善が成長となる事だと感じました。

(文責 太田 信一郎)

2011年度 第一回中同協企業連携推進連絡会に参加して

2011年10月3日～4日
県南ブロック 長崎浦上支部
内 山 洋 二

初めての地、くりこま高原駅 栗原市二度行く分かりません。この地駅横のエポカ21にて1日目スタート。福岡同友会の伊藤氏を座長に迎え、始まりました。まず、7月の総会を振り返ってと題しHope代表渡辺氏からの報告。第15分科会を振り返って、話題が山の様にありグループ討論の時間が取れなかったなど、そして通産省から先進県として表彰された件等を取混ぜ話されました。北海道は人材が豊富で、50人位はすぐに集まると言われ事に対し、東京同友会の方が北海道は恵まれています。東京では大企業とばかり国大も私大も組んで、中小企業と組んでくれないとぼやいていました。詳細は中同協から委員会報告が上がりますので、そちらをご参照ください。次に福島全研での関連分科会についてと題し、報告。第13分科会「企業間ネットワークを生かした国

際戦略(企業連携)仮称」、他国との中小企業と連携について報告予定。関連して報告者に愛知会代表理事エイベックス(株)代表取締役会長加藤昭彦氏より報告。自動車部品製造にて価格は中国には勝つがベトナムには負ける価格を維持、コストの見直しと他社にまねできない開発力で、今は大手企業と同堂通り引き、不況をばねに業績を伸ばしている事例を報告、とても頼もしい報告でした。次に特別報告「今こそ企業連携、大震災を乗り終



えるネットワークの力」と題し、宮城同友会事業ネットワーク部長、(株)ヴィ・クルー代表取締役佐藤全氏の報告。白石物づくり協議会、何か地産を利用した物づくりをやりたい会員が集まりスタート。宮城大学食産学部を開発を依頼し、ヘルシーな白石湯麺という新たな面を開発した。とにかく続ける為には委員会を毎月続ける事等言葉が印象的でした。佐藤氏には翌日の見学会でもとてもいい感動を頂きました。

二日目。まずは(有)パレット高橋社長のパートナー企業(株)愛宕産土農場佐藤社長を訪問、ここでは代表的な米作り農家(農業法人)。高橋社長の熱心な説得により、宮城の食文化「ずんだ(ゆでた原料をすりつぶしたもの)」の原料の枝豆を栽培、収穫し、蒸しから皮むきまで加工、そして全量を(有)パレットへ納入。この関係を2009年農商工連携の認定を受け、加工製造の機械を購入した。よく農家の方を説得したのかと、よく農家の方が説得に応じたのかと質問しました。「高橋社長が何回も何回も熱心に話をされ、自分も米だけではだめだと思っていいいたので、話に乗りました」と佐藤社長がお答えになりました。次に(有)小山牧場を訪ねました。牛乳屋さんのアイスクリーム「あいすむら」、酪農家から企業へ、一つの農業法人となる。とても美味しかったです。次もユニーク企業、役場を定年退職後起業、65歳で同友会入会、現在74歳。とにかく凄い、米粉を使い商品開発、ネーミングの発送もすごい、まず名前から入り商標権を取得、そして開発そして発売(知的所有権 ネーミング⇒商品開発⇒発



売)といった戦略を意識している事に感動。地元高校と「起業家研究」を通じ開発“米ていら 商標登録R”が第10回宮城ものづくり大賞を受賞、益々繁盛している。次にまたまた高橋社長のパートナー企業、関村畜産(法人)を訪問、新生漢方牛、くりこま漢方牛について説明を受ける。全量を(株)ダイチ高橋社長が全量を買取・加工すべく加工場を建設(農商工連携)、くりはら直販所(同友会経営指針を作る会会員5社で作る)、通販などで販売している。

宮城県は農商工連携そして農業法人化についてとても熱心に取り組んでおり、まず同友会の中に農家漁業家の入会を促進するため、同友会の中に農業部会・漁業部会等を作り、其々を法人化し、より企業と連携を進めるため同友会の方向性の一つを学びました。そして長崎の農家の有識者にもっとこの話を伝え農家の自立等を訴え、新しい連携を模索する事に励んで行き、同友会に報告出来る様になればと存じます。

ホームページリニューアル!!

情報広報委員会

たいへんお待たせしました。

ホームページがリニューアルしました。

ぜひ、ご覧ください。

バナー広告・協賛もお待ちしております。



経営労働問題全国交流会 参加報告

日時：8月25日～26日

会場：北九州国際会議場

参加分科会 第2分科会

テーマ 非常時の決断と行動
～事業発展のための根本的な力とは～

報告者 兵庫同友会
足立 勝 氏

青年経営者会 会長 西村 繁彦

報告の内容は、阪神大震災の後、経営計画書をもとに復興計画書をつくり、その危機を社員全員で乗り越え、それが会社を一体化させ、「人が仕事をする」という理念のもと、人材教育に力をいれたと言うことです。

私が感じたことは、報告の中で社員という言葉がたくさん出てきたことです。すべてにおいて社員と共に、一緒にと本当に社員思いの人だ、また社員をうまく教育できているし社員を信用していると思いました。

討論テーマに「経営指針を社員と共有し成果をあげるために大切なことは何か」とありましたが、足立氏の場合、それが最初からできたのではなく、人材教育しかないとの信念のもと、社員の心に触れる人材育成の仕組みとして、経営指針書、能力開発マニュアル、就業規則、人事考課制度の4つをもとに会社づくりをしているそうです。また、一泊研修など社員一人一人と話せる場をつくり、各個人の自己実現と会社の発展を社員と共有できたからだそうです。

今の私には、正直このテーマは難しかった。現実にまだ経営指針も作っていませんし、会社も一体化させることもできていない。自分の理想が社員に伝わっていないし、すごく恥ずかしかったです。その時、グループ討論の中で、経営指針は作っているが、それを浸透させるためにはまだまだと、何度も社員と共に読み返し、浸透させるしかない。それこそが共有し成果を上げるのではないか、だからこそ、あなたにもまず経営指針を作ることからではないかと言われ、今は自分がこうしたいと思う理想を明確に文章に現して、積み重ねて自分なりの経営指針を作っていこうと思いました。

初めて全国交流会に参加して、全国にはすごい人がたくさんいて、こんなにすごい人たちと話し合える同友会もすごいと本当に勉強になりました。

参加分科会 第3分科会

テーマ 同友会で学び、
社員と共に一流の中小企業に
～学生から選ばれる企業、
働きやすい職場環境づくりをめざして～

報告者 福岡同友会 元求人委員長
藤河 次宏 氏

長崎浦上支部 川口 圭典

今回の全国交流会、実行委員長が私が同友会に入会して以来、公私両面で大変お世話になっている中川氏が実行委員長ということで、義理立てのような気持ちで参加しましたが、今まで私が参加した全国総会、全研、青全交よりも規模は小さいですがとても密度の濃い素晴らしい交流会でした。

第3分科会は、福岡同友会、拓新産業㈱代表取締役藤河次宏氏 同友会で学び、社員と共に一流の中小企業に、というテーマの報告でした。建設足場、プレハブのリースをしている会社です。以前は同友会の共同求人に参加しても、自分の会社には、誰も来ることはなく、何とか希望者を見つけて入社させても、長く続かず、すぐに辞めてしまう状態でした。

同友会の多くの会員さんに相談して、就業規則、経営指針などの職場環境の整備をし、社員にとって働きやすい環境作りをころがけ、まだ世間で浸透していなかった完全週休二日や、有給休暇の完全消化、育児休暇の導入、社内サークルへの支援など職場環境の改善に数年かけてとりくんでは、毎年新卒者の定期採用を行っています。氏曰く福岡のこんな山の中の会社で毎年多くの求職希望者が面接を受けに来てくれる。その中で採用になった人は、自分は選ばれた人間だと感じ頑張ってくれる。またすでに働いている人は、毎年新入社員が入ってくることは、よい刺激になり成長してくれるとのことでした。

今回の報告で多くの学ぶべきことは、あったのですが私の一番驚きは、報告者が当社は顧客満足を求めない、社員満足を追求すると断言されたこと。

またグループ討論の席でも報告者と同じく顧客満足よりも社員満足を追求していますと言われていた方が居られたこと。

顧客満足と社員満足、正反対の考え方のように感じます。しかしよく考えてみると、社員が職場の環境に満足していない状況で、会社のために働きたいと思いませんか？休みが無い状況で働いたら自分なら適当なところで手を抜こうと思う。他によい条件の企業があれば、転職できるなら、すぐに転職する。

私は、自己中心過ぎる考え方があるのかもしれないが、労働環境、労働条件が良ければ、仕事へ

対する情熱、会社への愛情は、強くなるのではないかと考える。どんなに自分の好きな仕事であっても、環境、条件などが良くなければ、長くは続かず、逆に元々さほど興味が無かった仕事でも、環境、条件などが良ければ、いつのまにか自分の仕事にやりがいを感じ、職場に誇りを持てるのではないのでしょうか。社員満足は顧客満足とは、相反することではなく社員満足の先に顧客満足があるのではないかと思います。

11月例会報告

長崎浦上支部例会報告

日 時	11月15日(火) 午後6時30分
会 場	ガレージ酒場 2F
テ ー マ	お宝発見例会 ～参加者全員による報告、討論～
報 告 者	出席者全員



今回は「お宝発見例会！」と題して、参加者全員による報告・討論会を開催しました。

1人約3分の持ち時間で、自社のアピールや取り組み、自分の思いなど自由に語り合うという趣向です。

同友会での学び、実践、創業や承継のいきさつやご苦労話し笑い話し、目標を持ち知恵を出すのが社長の仕事だと自覚している云々、日頃から何度もお会いして気心知れているメンバーではありますが、あらためて「え？そうだったの？知らなかった！なるほど、それいいね！」全員が報告者であるがゆえ、意外にも普段なかなか聴くことのない多種多様な報告が飛び交い、また「自分も発表する」という個々の緊張感も体感しながら実に有意義な例会となりました。

口の字にテーブルを囲み、タイムキーパーには百円ショップのキッチンタイマーを使用しまし



た。各自がスタートボタンを押し自分で残り時間を確認しゼロになるとピピピ！と鳴ります。短いような長いような、いざやってみると「3分で伝える」ことは思いのほか難しく「的を絞って、皆にわかり易く、聴き易く」という感覚も同時に学ぶことができました。

不況といわれる時代が続く現在、発信力・コミュニケーション能力が問われています。恒例の、報告者が発表しグループ討議というスタイルも素晴らしい学びだと思いますが、今回のようなショートスタイルで、より多くの会員に発表のチャンスがあるというのもまた素晴らしい価値があると感じました。

例会終了後の懇親会には出口支部長の計らいで、国際的フォトグラファー西澤律子氏が飛び入り参加され、氏の素晴らしい作品を拝見しながらワールドワイドなお話も聴けたという一挙両得！これぞ同友会の醍醐味！新たな「つながり」にも感謝した次第です。

皆様ありがとうございました。

(文責 上野 辰一郎)

長崎出島支部例会報告

日 時	11月22日(火) 午後6時30分
会 場	サンプリエール
テ ー マ	「経営品質に取り組んで 我が社はどう変わったか」
報 告 者	株ドゥアイネット 代表取締役 土井 幸喜 会員



11月例会は、株式会社ドゥアイネット代表取締役土井幸喜氏より「経営品質に取り組んで我が社はどう変わったか」というテーマで報告していただきました。

報告のはじめに写真のスライドをみせていただきました。その写真の中では、仕事風景や、社員とレジャーを楽しむ様子が写されていました。そこに写る社員の表情は皆、楽しそうであり、いきいきとしていて、それをみて率直に社員全員が家族のように思えました。

それからテーマである経営品質の話を伺いました。

企業品質の向上を目指す段階での社員との温度差があり社員が自主的に取り組むようになるまでとても大変だったと思います。



何度も繰り返すことにより、何のためにやっているのかを理解し、報告の中にもありました社員が経営に参画できているという実感を持つことにより、企業品質の向上、また人・財・育成にも繋がっているのだと感じました。

経営理念である、要望を‘かた値’にかえる人づくり。

企業品質の向上なくしては実行できないことだと思います。人財育成の大切さ、人財が育つことにより会社は成長し社員満足度・顧客満足度の高い会社になっていくのだと強く感じました。

経営品質に取り組んでからの会社の変化を実体験とデータでわかりやすく説明していただきとても勉強になりました。

(文責 田本 佳史)

諫早支部例会報告

日 時	11月18日(金) 午後7時
会 場	諫早観光ホテル 道具屋
テ ー マ	「地域密着型の企業をめざして」
報 告 者	エフエム諫早 局長 酒井 郁子 会員

エフエム諫早は諫早市を中心に放送エリアを持つコミュニティ放送局です。諫早市と防災協定を結び年間800万円の予算をいただいて、防災無線の代わりにFMを使った緊急放送が出来るようになっていきます。そのためスタッフを放送局に滞在させて24時間体制で放送しておられます。開



局は2000年1月1日。初代社長の時には若い女性社員も多かったのですがなかなかチームワークがとれず、赤字経営が続いたそうです。その後、酒井さんが社長業を引き継ぎ、赤字経営からの脱

出を目指しました。

黒字経営を目指そうとした時に経理のやり方が間違っているのではないか？という疑問から始まりました。仕事の受注から番組制作への依頼、番組制作、お客様への番組告知、そして集金まで。仕事の流れをスムーズにしました。また、自分たちの給料は自分たちで稼ぎ出そうと社員の意識が変わってきたことも大きかったとの事です。

以前は営業担当を置かれていたそうですが、仕事を取る事が難しい為、酒井さん自らが営業に廻られました。仕事が受注できないと当然ながら番組が作れないからです。若い時にやっておられた選挙活動などで知り合いになった方々、また地域

のお祭りでの司会業を通じて知りえた多くの企業と人。その人脈を活かして仕事をいただいております。社長就任当時はボランティア番組から始められたそうですが、ボランティア番組も実際に人件費、交通費等様々な経費が発生し、いつの間にか「やってあげてるのに」と考えてしまうようになってしまいました。現在、ボランティア番組は中止されているそうです。やはりスポンサーの付かない番組作りは出来ない。そう実感されました。そんなご苦労の中、7年間で借金を返済し、今は黒字経営を続けられています。

(文責 山田 圭一)

大村支部例会報告

日 時	11月17日(木) 午後6時30分
会 場	長崎インターナショナルホテル
テ ー マ	入って良かった同友会
報 告 者	(株)長崎地研 代表取締役 村山 隆之 会員(佐世保支部)



今月は、佐世保支部より株式会社 長崎地研 代表取締役 村山 隆之氏にご報告頂きました。内容は、「入って良かった同友会」です。

ご自身の経歴や仕事への思い、体調の事などをお話して頂きました。同友会への入会や経営セミナーへの参加、そして同友会で得た物を自社へフィードバックし、経営計画発表会開催までの苦労などをお話して頂きました。

同友会の三つの目的「良い会社をつくろう」「良い経営者になろう」「良い経営環境をつくろう」を再認識した報告会でした。

グループディスカッションでは「同友会をどのように活用していますか？」をテーマに様々な意見を聞くことが出来ました。



自分自身の向上のため、または会社のシステムを作る為など色々な意見が出ました。経営者としての意見又は、社員としての意見などそれぞれの目線で同友会に参加されているのだなと思いました。

最後に同友会に参加する事、そして沢山の方々と接し刺激を受け、必要なものを自社に取り入れる事をコンセプトにこれらからの同友会活動に参加していこうと思いました。

(文責 小濱 新二)

佐世保支部例会報告

日 時	11月18日(金) 午後7時
会 場	佐世保市民会館
テ ー マ	「人間尊重の経営とは？ 障がい者雇用を考える」
報 告 者	(有)エス・ケイ・フーズ 取締役 中村 こずえ 氏



今月の例会は中小企業家同友会が掲げる「人間尊重の経営」にスポットを当てました。

「人間尊重の経営」の考えと密接な関係がある「障害者雇用」について考えるため、長崎市内でマクドナルドのフランチャイジーとして営業展開を行っている有限会社エス・ケイ・フーズの取締役である、中村こずえ氏よりご報告をいただきました。

会社概要から障害者雇用を実践するまでの経緯などの報告後、マクドナルドの厨房で働く障がい者の動きを映像で見せて頂き、障がい者が実際に働く姿を見て、これならばわが社でも雇用できるのではないかという気持ちになった会社もありました。資料の中には障がい者雇用によるエス・ケイ・フーズの社員意識の変革についての報告もあり、障がい者雇用の実践が、全社一丸体制の一助になったのではないかと感じました。

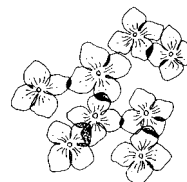
グループディスカッションでは、今期初めて特別支援学校（旧養護学校）からの実習生受け入れをしている企業から、社員の心の隙間を埋めてく



れる何かがある。卒業後の採用について真剣に考えたい。との言葉もありました。一方で事故による怪我などが、即指名停止等の処分につながるような、現場中心の会社では中々雇用は難しいとの声も上がりました。

様々な角度からの意見交流ができ、また、中村さんに聞きたい質問も多く挙がり、大変充実した例会となりました。中村さんからは、同友会入会の意味もいただき、これからは同友会の仲間として活動ができる事となりました。これからもどうぞよろしくお願いします。

(文責 原田 良太)



広告募集

<4cm x 9cm>

複数月	6ヶ月	12,000→10,000
	4ヶ月	8,000→7,000
割引	3ヶ月	6,000→5,000

北松浦支部例会報告

日 時	11月15日(火) 午後7時
会 場	松浦シティホテル
テ ー マ	「経営指針について…PART1」
報 告 者	株稲沢鐵工 稲沢 文員 会員 松永いづみ税理士事務所 松永 いづみ 会員



北松浦支部11月例会は、経営指針づくり委員会の担当例会とし「経営指針について・・・PART1」と題し、支部で進めている経営指針作成の必要性を勉強する例会となりました。

まず稲沢会員の話では、ご本人も同友会に入会して経営指針が必要だと感じたらしく、当初は作り方も全くわからなかったそうですが、同友会で



話を聞いたり、色んなセミナーに参加し勉強されたそうです。「理念とは簡単にはいかない、経営の中でできていくものだ」「経営方針や理念がなかったら今がなかったと」話されていたのが印象的でした。

松永会員は、実際にご自分の会社で作成中のクロスSWOT分析表をお持ちになられ、自社の説明の後、「他社との差別化とは、当たり前的事をきちんとする事。その積み重ねが大きな差別化になる」と話されました。

私自身、専務という立場にありながら自社のことはなにもわからないままに同友会に入り、なにかこの会で勉強できればいいなと思っていたところで、この経営指針や理念という言葉聞きその必要性を感じているところです。

経営指針ができれば自社の現状把握から今後の発展まで、明確なビジョンとしてイメージでき、その過程で次の展開へ繋がる新しい発見などもできそうな感じがしています。

私は北松浦支部長はじめ、他会員からの話を聞きながら是非経営指針をつくってみようと思っています。他支部の皆様も私と一緒にいかがでしょうか？

(文責 中村 寿弥)

島原支部・青年経営者会交流例会報告

日 時	11月19日(土) 午後7時
会 場	ホテル南風楼
テ ー マ	新しい事への挑戦 ～一歩前へ
報 告 者	ギャリル 代表 北尾 新 会員

長崎から青年経営者会の皆さんやギャリルの社員の方にもお集まり頂き、賑わいをみせた今回の例会。報告者は、島原市と南島原市で美容室を2店舗開業したギャリルの北尾氏。最初はやや緊張ぎみでした





が、話が進むにつれて慣れてきたようで、ギャリルの創業時から現在に至るまでの経緯を報告して頂きました。印象に残ったのは、順調に売り上げを伸ばしていく中で多店舗経営を目指す経営者と社員のすれ違いでした。社員から渡された要望書は、非常に内容が経営者にとっては厳しい内容でしたが、北尾氏は怒る事なく、話合いを行い、今までのやり方を0に戻して再スタートを切りました。ここで重要なのは、社員から要望書を出せる環境を作っていた北尾氏のふところの深さだと感じました。話の内容は、一見ワンマン経営のようでしたが、要所では社員の方に細かい気配りをされていました。

これまでの反省を基に、島原店は大幅なりニューアルを行い、社員の為の店作りを含めた業態変更を行いました。これまでの単価を低く、客数で売上を上げるやり方から、単価を上げ、客数を意識的に減らし、お客様一人一人とゆっくり向き合える形に変わった今後のギャリルが楽しみです。最後に、社員の方からの一言で、これからは北尾氏の期待に応えられるに社員一同でがんばっていきたいというコメントが出た時は、会場内が感動し、北尾氏の目にもうっすら涙が見えたような気がしました。一丸となったギャリルに皆さん、是非足を運んで下さい。

(文責 稲田 友範)

青年経営者会11月例会は交流例会と題し、島原支部例会に参加させて頂きました。

これは青経と同世代の若い会員が多い島原支部と交流を持つことで、お互い刺激になればという思いで



企画させて頂きました。

一見華やかに見える美容業界ですが、現状は厳しい労働環境であると述べられ、その環境改善こそが自分の経営の核になっているとのことでした。どうすればスタッフの待遇を良くすることができるのか？出した答えが店舗を増やし、利益を上げる。それをスタッフに還元するということでした。そのためには自分が良いと思う事はどんどんやっていく。しかしスタッフにアンケートを採ると、北尾さんに対して厳しい意見が寄せられました。その意見を真摯に受け止め、真正面から向きあう。どうすれば目的を達成し、夢に近づいていけるのか試行錯誤を繰り返し、経営を行っていく姿をみせて頂くことができました。また、驚いたことに例会にお店のスタッフを参加させていました。これは報告を行う上でとても勇気がいる事だと思います。スタッフの前では嘘をつけないですし、飾った報告を行うこともできません。逆に考えれば敢えてスタッフに参加させ、皆の前で日頃の言動を発表することで、普段自分が言っていることは嘘ではないぞ、俺について来いと言いたかったんではないでしょうか。こんな代表がいれば、スタッフも素直に意見をいえるでしょうし、それに伴い会社も伸びるんじゃないでしょうか。この様な北尾さんの経営に取り組む姿勢やスタッフとの接し方を通じて自分をさらけ出すことができる強さを見せて頂いたように思います。

そして例会後は懇親会へと移り、お互いの自己紹介を行うなどして交流を深めました。その後2次会、3次会と続きさらなる交流を行いました。今回、島原支部にご協力頂いて、交流例会とさせて頂き感謝しています。普段接する事が少ない他支部の会員と交流を持つ事はとても刺激になりましたし、ビジネス的な広がりをもつ可能性も生まれたのではないのでしょうか。

これで終わることなく、今後も交流を続けていきたいと思っています。

(文責 西村 浩文)

新入会員の皆さんです

(敬称略)

< 10月入会 >

支 部 名	長崎出島	
氏 名	たなか けいすけ 田中 圭介	
企 業 名	キューアール	
役 職 名	代表者	
企 業 住 所	〒850-0961 長崎市小ヶ倉3-195-19 七洋ビル4階	
T E L	095-878-0059	
F A X	095-800-1131	
業 種	情報サービス（Webアプリケーション開発、ネットワーク、インフラ設計）	
企 業 P R	小規模なプログラム開発やエクセル関数マクロ作りも行います。パソコンの導入、データ移行もやっています。業務の効率化でお悩みの方、ご相談ください。	
スポンサー	中原 一也	

支 部 名	大 村	
氏 名	やまもと けんたろう 山本 健太郎	
企 業 名	㈱Anne	
役 職 名	代表取締役	
企 業 住 所	〒856-0820 大村市協和町1725-5 yushina101	
T E L	0957-42-5166	
F A X	092-303-8744	
業 種	理美容業	
企 業 P R	平成16年創業、長崎県内に理美容7店舗・雑貨店1店舗を展開しています。スタッフが仕事に誇りを持てる会社を目指しています。	
スポンサー	大塚 正一	



支 部 名	佐世保	
氏 名	のぞえ てつや 野副 哲也	
企 業 名	江上郵便局	
役 職 名	郵便局長	
企 業 住 所	〒859-3242 佐世保市指方町1778-5	
T E L	0956-58-2576	
業 種	郵便局	
企 業 P R	郵便業務、貯金業務、保険業務を行っております。お気軽にご相談下さい。	
スポンサー	村山 隆之	

< 11月入会 >

支 部 名	長崎浦上	
氏 名	やました しゅういち 山下 修一	
企 業 名	㈱クオリティ・ケア	
役 職 名	代表取締役	
企 業 住 所	〒850-0001 長崎市西山2丁目6-7 リビエール長崎1F	
T E L	095-822-3212	
F A X	095-895-8212	
業 種	老人介護・デイサービス	
企 業 P R	常に感謝の気持ちをもち、「生活のリズム造りのお手伝い」をモットーに介護の予防、介護に取り組んでいます。	
スポンサー	出口 一隆	

支 部 名	長崎出島	
氏 名	ささの くみこ 佐々野 久美子	
企 業 名	ラウンジ セレブ	
役 職 名	代表者	
企 業 住 所	〒850-0841 長崎市銅座町11-4 七福ビル4F	
T E L	095-820-8111	
F A X	095-807-5993	
業 種	飲食業	
企 業 P R	落ち着いた雰囲気のお店です。飲み放題1.5h4,000円～。上品で素敵なスタッフが楽しい夜を演出します。	
スポンサー	品川 廣紀	

+++++

支 部 名	長崎出島		
氏 名	みね しゅんすけ 峰 俊典		
企 業 名	南みなと保険		
役 職 名	代表取締役		
企 業 住 所	〒850-0034 長崎市樺島町1-11 田代ビル302		
T E L	095-811-3733	F A X	095-811-3730
業 種	保険業		
企 業 P R	顧客に対してきめこまやかな説明、加入して「よかった助かった」と言われるような会社。何事に対しても一生懸命取り組む。		
スポンサー	品川 廣紀		



支 部 名	長崎出島		
氏 名	やまぐち のりお 山口 憲男		
企 業 名	クラブ子悪魔		
役 職 名	代表者		
企 業 住 所	〒850-0853 長崎市浜町10-21 WITH長崎ビル9F		
T E L	095-829-3345	F A X	095-829-3345
業 種	遊興飲食店（クラブ、バー）		
企 業 P R	WITHビル最上階、高い天井と広い空間をリーズナブルな料金にて提供いたします。 同ビルに姉妹店があり、ニューハーフショーを楽しめるフェアリー妖精、カラオケを歌えるガールズバー魔美も宜しくお願いします。		
スポンサー	井口 達宣		



支 部 名	長崎出島		
氏 名	よう まさる 楊 爾賢		
企 業 名	南慶華園（中国菜館慶華園）		
役 職 名	専務取締役		
企 業 住 所	〒850-0871 長崎市麴屋町4番7号		
T E L	095-824-7123	F A X	095-824-7051
業 種	中国料理店（飲食業）		
企 業 P R	長崎に創業して60余年、伝統の味・技、そして華やかなおもてなしを引き継ぐ中国料理店です。『本格中華の美味しさ、艶やかで華麗な中国模様』をテーマに、新しい中華の楽しみ方を提案させていただきます。		
スポンサー	飯田 義則		



支 部 名	大 村		
氏 名	さと みつひこ 里 光彦		
企 業 名	里 石材		
役 職 名	代表者		
企 業 住 所	〒856-0828 大村市杭出津3丁目75-1		
T E L	0957-53-4774	F A X	0957-53-4799
業 種	石材業（主に墓石）		
企 業 P R	他の墓石会社と異なり、中国製品にたよらず、自家製品で墓石を作成しています。		
スポンサー	吉尾 明美		



支 部 名	佐世保		
氏 名	ふじい たつま 藤井 達磨		
企 業 名	藤井産業㈱		
役 職 名	代表取締役		
企 業 住 所	〒857-0879 佐世保市島地町11-50		
T E L	0956-24-4430	F A X	0956-24-4440
業 種	テント・シート		
企 業 P R	重布の加工・製造、テント・シート全般、カーテン・ブラインド、イス・ソファ張り替え、イベント会場設営、船舶用テント・カバー全般		
スポンサー	川下 眞文		



支 部 名	北松浦		
氏 名	しげもと ちえ 重元 千絵		
企 業 名	㈱森システム		
役 職 名	財務主任		
企 業 住 所	〒859-4773 松浦市御厨町上登木免 412-6		
T E L	0956-75-2931	F A X	0956-75-2933
業 種	一般産業機械の設計・製造		
企 業 P R	ロボットを使った生産ラインや検査設備など、色々なご用命に対応しております。 お気軽にご相談下さい。		
スポンサー	稲沢 文員		



+++++

レンタル一筋四十年
無料で ロゴ社名入りマットを製作
 ☆空気清浄機 ☆キャビネットタオル ☆ハンドドライア
 ☆浄水器 ☆アルカリ整水器 ☆各種モップ
 ☆玄関マット ☆エレベータマット
(有)ダスキン栄進 電話 095-823-7633
 Fax 095-823-7656

おかげさまで創業32周年

有限会社 プライアント 保険
Tel : 0956-28-2425 <http://www.pliant.jp>
☐ 本 店 佐世保市日野町70-4
☐ 日野支店 佐世保市日野町1828-49 2F
☐ 来店型ほけんショップ 佐世保市日野町1828-49 1F

1 月例会案内

●長崎浦上支部

日 時 1月17日(火) 午後6時30分
会 場 ギャラリーヘキサ
テ - マ 『6次産業の創造で地域の活性化を』
くおおむら夢ファームシュシュの取り組み>
報 告 者 (有)シュシュ 代表取締役
山口 成美 会員 (大村支部)

12年前、農協職員のときに今後の農業の先行きを思い、作って
売らただけでなく付加価値を高めた加工をして他所にない物を作ろ
うと、今のシュシュを設立しました。
農家、加工製造の会社、販売店とさまざまな業態の連携を図り、
それぞれが良くなるように考えて仕事を作っていくことが大事な
事だと思っています。
外国など、他所に負けない農業を作り、連携をしたそれぞれが潤
えば、他の業種にも良い相乗効果が出てきて、自分たちの地域が
もっと良くなると思います。

●長崎出島支部

日 時 1月25日(水) 午後6時30分
会 場 サンプリエール
報 告 者 (株)ホロスプランニング
加瀬 和利 会員

●大村支部

日 時 1月28日(土)
会 場 居酒屋よっとこ
内 容 慶祝例会

午前中 富松神社
喜 寿 脇村英治さん
厄入り 山口佳彦さん、山本進さん

●北松浦支部

日 時 1月16日(月) 午後7時
会 場 松浦シティホテル
内 容 新年例会

●佐世保支部

日 時 1月21日(土) 午後7時
会 場 魚魚市場 (とといちば)
内 容 慶祝例会

新春恒例の慶祝例会です。本年度は、橋口会員が厄入りを迎えら
れます。皆さん、ぜひご参加下さい。

●諫早支部

日 時 1月20日(金) 午後7時
会 場 諫早観光ホテル 道具屋
テ - マ 我が社の経営戦略
～何故から始まった業界への疑問～
報 告 者 (有)上田自動車 代表取締役
上田 五月男 会員

平成3年の普賢岳の噴火災害で、自宅及び工場を失う。父は苦勞
しながら再建。平成8年に現在の場所で営業開始する。父の姿を
見ながら後を継ぐ決意をする。そこには業界に対しての疑問ばかりが…。
自社の方向性を探りながら悩む中で、平成17年4月
末にある他県の同業他社を訪問した際にその解決策を見つける。
3ヶ月後の平成17年7月には法人化をしてそれを機に28才の
若さで代表取締役へ。「見せる車検」を始める事により、お客様
へ満足を提供出来るようになり、現在では車検をベースにしたお
客様を喜ばれる様々なサービスを提供中！

●青年経営者会

日 時 1月28日(土)～29日(日) 午後7時
会 場 嬉野温泉 和多屋
内 容 新春 交流大新年会
～青経もOBも青懇もみんなで大討論～

数年前まで青年経営者会の恒例行事だった1泊での新年会が今期
復活！

青経会員はもちろん、OBや北九州青年懇話会のメンバーもさん
かして温泉で温まった後、青経の現在 過去 未来また各自の
新年の抱負や意気込みを語り合い、嬉野の湯に負けないくらい熱く
討論し交流を深め合います。

会員企業大活躍！

おめでとう
ございます

県知事賞 (WINNING 賞) 受賞！

第59回県発明くふう展（県発明協会主
催）の中小企業の部で、長崎出島支部・
加悦明良会員・株小島工作所の「木球研
磨装置」が受賞されました。
おめでとうございます。



理事会報告

議事録 抜粋 2011年11月7日(月) シーハットおおむら

第18回 経営フォーラムについて

- ・各ブロック共に参加目標を達成して頂きました。
ご協力、本当にありがとうございました。

※登録・参加状況

	浦上	出島	県南	大村	諫早	島原	県央	佐世保	北松浦	県北	合計
目標	50	50	100	20	20	10	50	20	10	30	180
会員登録	49	48	97	17	16	12	45	21	10	31	173
会員登録	46	47	93	12	13	9	34	15	6	21	148
オブ登録	8	13	21	4	1	1	6	1	0	1	28
オブ参加	6	10	16	4	1	1	6	0	0	0	22
登録合計	57	61	118	21	17	13	51	22	10	32	201
参加合計	52	57	109	16	14	10	40	15	6	21	170

[来賓]

長崎県知事代理 産業労働部 政策監 稲田 雅厚 様
長崎市長代理 経済局 商工部長 高比良 実 様

仲間づくりについて

1) 入会・退会の承認依頼について—入会7名、退会3名を承認

2) 仲間づくりの進捗状況・具体的活動状況について

《総括》 上谷仲間づくり委員長

—経営フォーラムをきっかけに5名の方に入会頂きましたが、残念ながら退会者が多く、400名突破が達成できていません。同友会の良さを知ってもらうために、各支部日頃からのフォローをお願いします。

＜決議事項＞

退会された方（支部長から事務局へ依頼があった方のみ）に対して積極的に案内発信を行う。

報告・連絡事項

1) 10月 県本部・各ブロック・各支部・各委員会等の活動状況について

経営指針づくり委員会

委員長12月3日(土) アルカディア大村にて「長崎がんばらば塾」(仮称)(半日コース)を開講します。今月14日(月)委員会(シミュレーションを兼ねて)を開催し、最後の詰めを行い、全会員の皆さんに案内を発信します。

企業変革支援プログラム推進委員長

今月は、企業変革支援プログラム推進月間です。ステップ1は、同友会の理念からエッセンスを抜き出し、それらを企業変革のための重要な要素として整理分類し、自社の成長発展を図るものさしとして使える様にまとめ上げたものです。

ぜひ皆さん取り組み、e-doyuに登録し、活用して下さい。

2) 例会について(更なる例会の充実をめざして)

第2回例会委員会報告—芦塚事務局員 中村委員長作成の議事録をもとに報告。

3) 組織検討委員会 進捗状況報告—山田事務局長

4) 政策委員会・条例問題 進捗状況報告—町田政策委員長・宮田大村支部長

宮田支部長

—10月18日 大村商工会議所との連名で「中小企業振興条例」制定要望書を大村市 松本市長へ提出しました。感触としては良好。今後も取り組みを進めていくと同時に、同友会会員及び商工会議所メンバーに対して、振興条例の周知に注力していきます。

町田政策委員長

—長崎県の産業振興ビジョンに中小企業の状況を反映・把握のための同友会会員事業所のアンケートを本年度中に実施すべく、現在内容を詰めております。その内容を理事会で承認頂く予定です。会員間での温度差が発生しないように、支部例会内で振興条例に関して学ぶ機会を作ることを検討していただきたい

と考えております。よろしくお願いします。

5) 中同協関係の件

①主要行事の紹介と参加促進

理事は年1回、支部役員は2年に1回は全国大会に参加しましょう！(申し合わせ事項)

②企業連携推進連絡会 報告—内山副代表理事

③第2回幹事会報告—松尾代表理事・山田事務局長

④九州・沖縄ブロック代表者会議 報告—松尾代表理事・山田事務局長

議題1 中小企業振興条例運動推進について

議題2 組織強化について

(空白地域対策・小グループ活動等について)

議題3 ブロック内の活動・相互支援について

松尾代表理事

—会員不在の「空白地域」に支部を設立することによって、組織強化・拡大に繋がっています。

佐賀同友会への応援に対して他県同友会や中同協からの支援。

更に行政・他団体との連携を深める中で広報誌に寄稿して頂くという事も手段の一つである

決定事項の報告—山田事務局長

第6回 九州沖縄ブロック支部長・支部活動研修交流会

・日時/2012年5月24日(木)

13:00開会~25日(金) 12:00閉会

・場所/大分または別府市内

対象/正副代表理事・地区(ブロック)

役員・支部長・支部役員

・テーマ/何のための同友会か?を追求し、企業経営と同友会運動を不離一体のものとする。

6) その他

・確認事項

各組織への出席対応について等

「理事会」—欠席の場合は必ず副担当者に参加して頂きたい。

(支部長の場合は副支部長、委員長の場合は副委員長)

(副委員長未定の委員会は、委員会の継続性からも副委員長を選任して下さい。)

※「返信期日」並びに「理事会報告の提出期限」の厳守にご協力頂きたい。

「県委員会」—各ブロック・支部より少なくとも一名は参加をお願いしたい。(ブロック・支部への伝達徹底のため)

議事録 抜粋 2011年12月1日(木) 同友会事務局

仲間づくりについて

入会4名、退会1名を承認

報告・連絡事項

1) 11月 県本部・各ブロック・各支部・各委員会等の活動状況について

《情報広報委員長》

DOYU ニュースに掲載される例会報告は、現在参加者からの感想となっていますが、報告者自身による記載が好ましいとの意見でまとまり、今後例会委員会との協議を行いたいと思います。また、月1回のDOYUニュースに掲載する内容を少しスリムにし、定期的なメルマガ発行、あるいはホームページ上の情報を充実したいと考えています。DOYUニュースに各委員長からの原稿を掲載したいという案があります。実際に委員長として職務を行っているうえで、感じたことや考え方など、広く会員に発信することも意義があるのではないのでしょうか。

《政策委員長》

11月21日に県産業労働部と「地域振興のための意見交換会」を開催しました。参加者は、県から12名と同友会からは事務局を含め15名でした。同友会について、憲章・振興条例について、長崎県の中小企業支援事業について、双方から情報を提供したあと、意見交換をしました。皆さんにネクタイを外して頂いたことで気軽に意見が飛び交い、有意義な会となりました。懇親会でも、県の方々から今までこのような意見交換会

はなく、今回は現場の掘り下げた内容が聞けてよかったと、再度の開催を約束して閉会しました。
12月21日に県政策委員会を開催し、同友会会員企業のアンケートの内容を検討する予定です。(来年3月までには発信予定です。)

2) 例会について(更なる例会の充実をめざして)ー中村例会委員長

- 3) 長崎県産業労働部との「地域振興のための意見交換会」開催報告ー町田政策委員長
※今後、産業労働部の皆さんに例会に参加して頂き、県の中小企業支援策を説明してもらったり、グループディスカッションで一緒に討論を行う等積極的に交流をし、親交を深めて頂ければ幸いです。皆さん、よろしくお願いします。

《参加者の感想》

- ・県の皆さんの自己紹介の時間が欲しかった。(誰が何を担当しているのかわからなかった。)
- ・長崎同友会にとって大きな前進です。次回も時間をあまり空けずに開催して欲しい。
- ・今後は会員の皆さんへの発信、周知が必要です。(会内において認識を高めていきましょう。)

4) 中同協関係の件

- ①主要行事の紹介と参加促進
- ②「中同協 青年部連絡会」発足(先月理事会報告)に伴い、長崎同友会の委員を選任。
※青年経営者会 会長 西村繁彦会員に快諾頂きました。

5) その他

「士業ネットワーク」発足についてー福井会員
ー士業の会員の方のネットワークを立ち上げようという話を持ち上がり、明日、1回目の会合を開催する予定です。目的は2つあります。①互いの業務研究、情報交換、親睦等。相談内容が複雑化してきており、協力して解決していくためです。②(将来的に)現在休止中の「経営相談室」の役割を果たしていければ ということです。
現在は長崎地区の方が中心ですが、県内全域に広がっていく予定です。
相談案件の受付は全県からOKです。今後、広報誌、e-doyuでの情報発信を考えています。

協議・承認事項

- 1) 経営フォーラム仮決算 承認の件ー吉田副実行委員長ー承認
- 2) 組織検討委員会からの提案を受けてー加悦組織検討委員長 来期からの組織変更をめざし、今期8回の委員会を開催し詰めて頂いた「組織図等」をもとに説明して頂きました。

決議事項ー組織図の方向性は承認。

各ブロック・支部で協議し、役員会後に意見を理事会メンバーングリストに報告する。

《理事会での意見》

- ・ビジョンがあって、それに向かってどういう組織を作るのかという議論をすべきでは？
(回答)・できるだけ現状に近い所からスタートしたいという思いがありました。
- ・何のために200名の組織を作るのか？目標がないと議論しにくい。
(回答)・会員200名あたり事務局員1名というこれまでの試算から考えました。
- ・各ブロック・支部からの意見を基に、組織関連に注力した理事会を開いて頂きたい。
- ・この組織図は、委員会(と一部の支部)で議論し尽くされた結果であることを尊重すべき。
- ・県南支部は支部長ひとりりで200名のふたつの地区をまとめられるのだろうか？
- ・県南支部は何ら今と変わらない。
- ・ひとつの「地区」の場合は、今まで通り「支部」で構わない。
- ・会員の皆さんが活動しやすく、わかりやすい組織作りをめざす必要があります。
- ・副代表理事2名の選出方法は？
(回答)・代表理事の指名を考えていますが、理事会で決めて頂きたい事項です。
- ・副代表理事は将来の代表理事候補でもありと考えられるので、代表理事推薦時に一緒に推薦してもらってはどうか？
(回答)・選考委員会にも絡んで来る事ですが、他にもここに記載がないものは積極的に意見を出して下さい。

- 3) 40周年記念事業実行委員会からの提案企画 承認の件ー岩崎委員長ー企画の方向性を承認

- 4) 2012年度に向けての確認ならびに定時総会についてー山田事務局長

- 5) 2012年度 予算に関してー吉田財務委員長
※各ブロック・支部で協議し、役員会後に意見を理事会メンバーングリストに報告願います。

今回の予算案はたたき台です。

「活動費」に関しては、組織検討委員会提案組織割(地区)に則り予算組しました。

- 6) 映画「かすかな光へ」実行委員会 参加要請 対応の件ー山田事務局長
実行委員会参加対応ならびにチケット販売等の上映支援を承認。
実行委員就任は島崎情報広報委員長に快諾頂きました。

※映画「かすかな光へ」は、大田 堯氏のドキュメンタリー映画。
3月20日(火) 長崎ブリックホール上映予定。
(1月7日試写会予定。)

- 7) 事務局備品(パソコン) 購入申請についてー山田事務局長ー承認

会員消息

●会社名のみ変更

村山 和幸 会員 (諫早支部)
新社名: ㈱ハート不動産 旧社名: ハート不動産



訃 報

徳重 保昭 会員

(佐世保支部)

9月11日 66才でお亡くなりになりました。心よりご冥福をお祈り致します。

退 会 者 (敬称略)

9月退会	会社名		会員名	支部名
	ブリーズ	ブリーズ	坂 野 純 子	長 崎 出 島
10月退会	㈱五島製麺		夏 井 淳	長 崎 出 島
	長崎インターナショナルホテル㈱		豊 田 修 一	大 村
	㈱小野原建設		小野原 清 治	佐 世 保
	尚時堂㈱		中 村 尚 広	北 松 浦
10月退会	社会福祉法人滑石センター保育園		柿 田 康 郎	長 崎 浦 上
	みずほ証券㈱		浅 田 恵 子	長 崎 出 島
	㈱野口クリーニング社		野 口 務	長 崎 出 島

会 員 数 (12月1日現在)

	長崎浦上	長崎出島	県 南	大 村	諫 早	島 原	県 央	佐世保	北松浦	県 北	合 計
目 標	100	100	200	50	80	40	170	100	40	140	510
期 首	84	84	168	38	40	31	109	69	31	100	377
受 付 合	88	91	179	46	43	32	121	69	29	98	398